

中|小|企|業 ひろしま

No.755

広島県中小企業団体中央会

令和元年12月10日発行(毎月10日発行)

力を合わせて
ともに成長し、
広島をもっと元気に。

2019
12
— December —

INDEX

巻頭特集/組合紹介 1~2

50年、100年先を見据えた
森林づくりを！

広島県北部国産材加工協同組合

中央会ニュース 3~9

「組合法施行70周年記念式典」を開催

「第71回中小企業団体全国大会」鹿児島県で開催

「第2回理事会・秋期講演会」を開催

「ものづくり連携倶楽部ひろしま

第11回講演会・企業交流会」を開催

販路拡大プロジェクト 販路拡大を目指した展示会共同出展

青中ニュース 10

「県知事を囲んでの集い」4年ぶりの福山開催

組合士会ニュース 11

組合士として様々な見聞を

～広島県中古自動車販売商工組合の事例に学ぶ～

組合ニュース 11

組合創立50周年記念式典を開催

協同組合福山鉄工センター

10月景況レポート 13~14

ものづくり企業紹介 15~16

株式会社ショード



四百年以上前から
愛される、広島の名産



特集

組合紹介

組合紹介

広島県北部国産材加工協同組合

50年、100年先を見据えた 森林づくりを！

理事長

一本木 孝史 氏



た。これを有効利用したいとの思いから、山から木を切り出す素材生産業者、製材業者、森林組合が中心となり、その木材を共同加工する目的で、25社で設立しました。

当初から、成育途上である間伐材を主として扱っており、木の特性をいかに活かすかに腐心し、手間をかけ、木の向きに合わせて製材する技術により、大規模効率化が図られている木材産業とは逆ともいえる独自路線を走り続けて、今日に至っています。

コスト高でも売れる「多種多様な製材品」にこだわる

現在の木材製品は、人工乾燥した板を接着剤で貼り合わせたものが主流になっており、規格化された製品が大量生産されていますが、当組合では、「コスト高でも売れるものをつくる」をモットーに「小径木」専門の製材工場として、多種多様な小口注文にも応え得る製材機械を揃えています。

顧客の細かい注文にも即時対応し、必要なサイズに加工した製品を提供しており、顧客の多くは地域の大工・工務店や建材店が中心ですが、

近年では、DIY ユーザ向けのホームセンターにも納入しています。

製材の手法は木の向きに合わせて鋸を入れる昔ながらの手法を守り続けており、丸太の腹(山側)を上に向けた「本木」(「本振り」ともいう。)にして製材する方法を基本とし、どんな「小径木」でもその方法を使います。歩留りにはこだわりません。

木の向きに合わせて製材することで、目切れがなく、年輪の向きや姿が均等になるようにしますし、木材の乾燥は機械で行う人工乾燥ではなく、手間・コストをかけ、栈積みの天然乾燥を採用し、変質しにくい製品を提供しています。

「間伐材」の長所を徹底して活かす

間伐材は、密集化する立木を間引く過程で発生する木材で、その多くは「小径木」であったり、曲がって成長している木であったりします。

「小径木」を活かす製品づくりの一環として、羽目板(規格品の加工板)とフローリング板を製造しています。まっすぐな木材は枝がバランス良く育っていますが、節が多いことが欠点です。それに比べて「曲がり材」は谷側の枝が多く、反対の面は枝が少なくてきれいな材が採れる木が多い



材木置き場

間伐材の有効利用を目指し

当組合の設立は、昭和59年で、高度経済成長の余韻で、国産材では供給が追いつかず、さらには、それまで賦課されていた関税が撤廃されたこともあって、近年まで日本は世界第1位の木材の輸入国であった時期でした。

価格競争力に乏しい日本の林業では、切り捨てられ放置されていた「小径木」の間伐材があふれていまし

のです。そこで、一つひとつの木に合わせて製材することで曲っていても、短く切れれば真っ直ぐになるので羽目板にしています。

きれいな部分は全体のうち少量ですが、製品単価の高い、主に天井や壁に使う羽目板となり、そのわずかな部分で売上げの大部分を占めます。残りの製材は梱包材など、値段を下げ、競争力を維持しています。

「小径木」は節の数が多い反面、大きさは小さいので、すきまや割れ目などに木片を埋めて繕う、「埋め木」の必要がありません。通常、フローリングは埋め木が必要ですが、その手間が省け、コストがかかりません。つまり、安い原料から手間のかからない付加価値の高い製品が出来上がっているのです。

「曲がり材」でも「小径木」でも、木材の長所を活かす製品づくりが当組合の大きな強みです。組合のこの特徴を活かし、消費者のこだわりニーズはもとより、近年では、シックハウス問題、自然派の住宅ブームにも対応しています。



製材風景1



製材風景2

最近、各地で増加している木質バイオマス発電施設で、低質材が「未利用材」として燃やされている現状は、工夫がないようにみえます。木は40年も50年もかけて育つのに、燃やすのは一瞬です。サイクルが全然違う訳ですから、工夫して使うことをもっと検討するべきだと考えています。

未来につなげる環境づくり

近年、テレビやスマートフォンのゲームの普及などにより、外に出て自然と触れ合う子どもたちは激減しています。

色とりどりの姿を見せけている自然の魅力や、木工の文化や木の香りのする家など、広島の子供達に、森林のすばらしさを伝えなければとの思いが強くなっており、広島県産の木を使った製品の寄贈や子供が木と触れ合うイベントを他の団体と協力して行っています

また、ここ数年、多発している川の氾濫・決壊、土砂崩れや倒木の被害は、全国各地で大きな傷跡が残っています。その要因の一つに、「森林の未整備」があります。手入れが十分に行き届かない森林では、木も弱くなってしまう。



加工された製材

“間伐”や“枝打ち”などの手入れが行き届かない山は、土砂崩れや倒木などにつながる可能性が高くなります。森林は、降った雨を蓄えて、ゆっくりと川に流したり、温室効果ガスの二酸化炭素を吸収したりと果たす役割は大きく、私たちが森林から受ける恩恵は計り知れません。

間伐を行うことで森林を守り、地球温暖化抑制や環境保全のために、我々が、間伐材を有効利用することで国産材の利用をさらに広げるとともに、森林の様々な役割とその大切さを子供たちに伝え、豊かな環境を未来に引き継いでいきたいと思っています。

(取材：連携支援部 正迫 克典)



木と触れ合う子供たち

広島県北部国産材加工協同組合

三次市西酒屋町久々原1281-1

TEL：0824-63-2003

FAX：0824-63-2004

中央会NEWS

「組合法施行70周年記念式典」を開催



記念式典の会場



大臣表彰を受け取る広島県自動車整備商工組合宮本理事長

全国中央会は、11月26日、ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区)において、中小企業等協同組合法施行70周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行60周年記念式典を開催しました。式典では、その運営が特に優良と認められ他の模範となる組合並びにこれまで組合の発展に寄与した組合役員及び組合専従職員に対し表彰が行われました。

広島県における表彰者は次のとおりです。なお、式典では、宮本周司経済産業大臣政務官をはじめ各表彰者から総代に対し、表彰状が授与されました。この度は誠にありがとうございます。

大臣表彰

(組合法70周年)

協同組合等功労者



林 恵介 氏

広島県中小企業共済協同組合
理事長
(経済産業大臣賞)



唐川 正明 氏

広島県東部機械金属工業協同組合
代表理事会長
(経済産業大臣賞)

(団体法60周年)

優良商工組合等

広島県自動車整備商工組合 (国土交通大臣賞)

中小企業庁長官表彰

(組合法70周年)

協同組合等功労者



中村 哲朗 氏

広島食品工業団地協同組合
理事長



小田 一美 氏

協同組合環境改善推進センター
理事長

優良協同組合等

広島県室内装飾事業協同組合
広島県ビルメンテナンス協同組合

(団体法60周年)

商工組合等功労者



大谷 博国 氏

広島県菓子工業組合 理事長

全国中央会会長表彰

(組合法70周年)

組合専従優良職員

内藤 栄 氏

神石生コンクリート協同組合
工場長

大石 佳奈美 氏

広島県二輪自動車協同組合
事務局長

岩岡 利雄 氏

広島県医師協同組合
事務局長

畑本 貞美 氏

福山青果商業協同組合
事務長

三島 和美 氏

協同組合福山金属工業センター
会計主任

立盛 富夫 氏

広島トラック事業協同組合
事務局長

菅波 幸恵 氏

協同組合神辺わかば会
会計主任

(団体法60周年)

組合専従優良職員

松井 ちどり 氏

広島県電気工事工業組合 総務主任

中央会 NEWS

「第71回中小企業団体全国大会」鹿児島県で開催

『新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来 ～時空を越えて 舞台は鹿児島から～』



中小企業団体代表者約3,000名が参集

11月7日、「第71回中小企業団体全国大会」が鹿児島アリーナ（鹿児島市）において開催され、全国から中小企業団体の代表者約3,000名が参集し、経済産業省、厚生労働省、農林水産省等から多数の来賓が出席された。広島県中央会からは、総勢31名の中小企業団体役員及び組合関係者が出席した。

本大会では、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充」など中小企業・小規模事業者の持続的な発展を実現するための中小企業対策の拡充に関する26項目を決議した。さらに、岩重昌勝 鹿児島県中央会副会長が「大会宣言」を高らかに宣し採択された。今後、全国中央会を中心に都道府県中央会が連携し、国等への要望活動を行っていく。

また、大会に併せて、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀専従者22名が表彰された。なお、次回全国大会

は2020年10月22日に「茨城県」において開催することが決定した。

全国大会に併せた本県企画ツアー（1泊2日）には、21名の参加があった。1日目は大会終了後に懇親会を開催し、2日目は仙巖園・尚古集成館を訪れた後、桜島に渡って有村溶岩展望所等の視察を行った。

全国大会及びツアーにご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。



ツアーは総勢21名が参加

【全国大会決議事項】

1. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充
2. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
3. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充
4. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

※詳細は全国中央会HP「中小企業団体全国大会」よりご確認ください。

この度の大会において、広島県より優良組合として1組合、組合功労者として3名の方が表彰を受けられました。誠におめでとうございます。

【優良組合】

協同組合広島総合卸センター

【組合功労者】

中国スレート販売協同組合
理事長 矢吹 俊氏

広島安全施設業協同組合
理事長 宮川 裕正氏

協同組合広島県東部設計センター
相談役 藤井 修氏



中央会NEWS

「第2回理事会・秋期講演会」を開催

広島県中央会は「第2回理事会・秋期講演会」を、10月31日に開催した。

理事会では、当年度における「広島県中央会ビジョン」等、活動の進捗状況について中間報告を行い、併せて開催した講演会では、日頃、直面する課題に向き合っておられる理事長、経営者の皆様に、少し先の将来について幅広く考えて頂く機会を提供することを狙いに実施している。そのため、中央会役員とともに、中央会の将来を担う青年中央会役員等も出席した。

今回は、慶應義塾大学 経済学部教授 井手英策氏より、「幸福の増税論～今日より素晴らしい明日をつくる」と題し、とても熱く講演を頂いた。



井手教授

講演要旨

- ・日本の社会保障は充実していると言われるが、現役世代の取り分は極端に少ない。共働き世帯が断然多いにも関わらず、勤労者世帯収入は下がり、1997年の水準に未だに戻っていない。一方で、教育の自己負担は先進国で一番高く、明らかに格差が広がっている。
- ・日本では生活保護の権利を持つ人の15%しか使わない。スウェーデンは80%、フランス90%の人が使う。人様のご厄介になることを恥ずかしいという社会にあって、生活保護を強化しても効果は小さいのではないかな。
- ・私は「ベーシックサービス」という考えを持っている。サービスとお金を分ける。財源は消費税を中心に皆で

負担しあい、サービスは皆が必要とするのだから皆に出す。

- ・中小企業経営者の皆様の前で消費税の話をして喜ばれるはずはない。しかし、私は皆さんを説得したい。消費税でなければ、そういった(痛みを分かち合う)社会は実現しない。
- ・消費税への反対論(逆進的、使途への不安、政府が信頼できない)に反論可能。特に、政府が信頼できないのなら、政府が私達を裏切らないような仕組み(オランダのCPB)のような制度を作れば良い。
- ・北欧は税金が高い。国民負担率が北欧59%に対して日本43%。しかし幸福度は北欧3位で日本58位。増税に反対するだけでは、幸せな社会は作れない。経済がまわり、安心できるからチャレンジする。そういう社会の新しい循環を作る。この当たり前の施策を日本はずっとやらずにきた。
- ・消費税増税とベーシックサービスを車の両輪として、弱者を助ける社会ではなく、弱者を生まない社会をめざす。やる気にさえなったらできる話。
- ・辛い話や痛みから逃げないで、私達がどういう社会を構想し、実現していくのかを考える。これができかどうか、私達の未来を決めるのではないかなと思っている。



理事会風景

中央会 NEWS

「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第11回講演会・企業交流会」を開催

広島県中央会では、10月30日(水)、福山ニューキャッスルホテルにおいて「第11回 ものづくり連携倶楽部ひろしま」を開催した。県内ものづくり企業を中心とした中小企業者の新たな連携の支援を目的に、広島と福山で年に1回ずつ開催している。

この度は、「自社製品による下請体質の脱却」をメインテーマに、メイドインジャパンの工場直結アパレルブランド「ファクトリエ」の山田代表による講演をはじめ、県内企業から3つのプレゼンテーション及び、その後の交流会での企業間のマッチングを促した。

過去の開催ではアパレル関係の講演がなかったこともあり、参加者57名のうち、初参加のアパレル事業者が約半数を占め、女性の参加者も例年より増えるなど、フレッシュな顔ぶれとなった。このため、交流会では初対面の出会いにもかかわらず、23件ものマッチングが成果として上がった。

講演会 共通テーマ「自社製品による下請体質の脱却」

【講師】ファクトリエ 代表 山田敏夫氏

「ファクトリエ」は、山田氏が平成24年に設立したライフスタイルアクセント株式会社(東京・銀座)が運営するアパレルブランド。日本のアパレル国産比率は1990年に50%であったが、現在は3%を割り込む状況にある。さらに、

メーカーの言い値による薄利の賃加工を余儀なくされるケースも多く、国内の工場は減少の一途をたどっている。

この様な中、

ファクトリエでは、自社ブランドを持たないアパレル工場と連携して製品を開発し、同社のブランド「ファクトリエ」のECサイトにより、作り手の情熱とこだわりを発信することで、熱狂的なファン作りを実現し、「作り手の想いで買う」という新たな価値軸を築いている。ファクトリエはクラフトマンシップの「世界一の伝え手」を目指している。

単独での自社製品開発や販路開拓が難しい場合は、ファクトリエのように、それを得意とする他社と連携する方法がある。自社製品を展開することで、薄利の賃加工よりも利益が確保できるようになり、それを人の雇用や設備投資の原資とすることができる。また、製品開発の過程で、社員が試行錯誤し創意工夫を行うことで、人材の成長にも繋がる。更に、自社製品に企業名が載ることで、責任感が高まり、より良い仕事をしようとするモチベーションにもなる。



ファクトリエ 代表 山田敏夫氏

現在はSNSで企業内外からの情報があふれ、360度から「見られている」状況。表面だけを取り繕っても中身が伴わないとどこかでそれが明るみになり、不信感につながる。本当のブランディングは、商品づくりに全力でこだわる姿勢・熱意が「余熱」として外部に伝わるもので、だからこそブランドを支持してくれるファンの獲得につながる。

事業が成功するためには、このような信念とタイミングも重要である。ファクトリエの場合も、スマートフォンやSNSが普及し、ECサイトが隆盛したことで低コストかつ自由な情報発信が可能となった。タイミングも時流に乗れる時を見定めるべきだが、「やって失敗するリスクよりも、やらないリスクの方が大きい」と感じれば、勇気を出して一歩踏み出すべき。

【講 師】繊維産地承継プロジェクト委員会委員長

後藤 和弘氏、副委員長 黒木 美佳氏

福山市の主要産業である繊維産業の活性化と、次世代への継承を目的として有志8企業で組成した。新たな担い手の育成・確保を目指す「人



繊維産地承継プロジェクト委員会委員長 後藤 和弘氏

材育成講座」では、受講生を一般公募し、1ヵ月の期間をかけてジーパンを1人で縫えるようになるレベルまで育てあげるとともに、福山の繊維産業の成り立ちなどを座学で教えている。

卒業生は同プロジェクト内の企業への就職のほか、イベントを開催する際に積極的に手伝ってくれており、プロジェクトの熱量が生徒に伝わり、仲間になっていると感じている。また、人に教えることで、自分達の成長にもつながっていると実感できている。

【講 師】有限会社ヤマナカ 代表取締役 山中 雅寛氏

医工連携で開発し、特許申請中の特殊な周波数振動“ゼロワンリズム”を加えることのできる加振装置「タップマスター」により、各種の革命を目指している。健康の革命では、体や脳を揺さぶることによって健康の増進につなげてい

る。味の革命では、塩や味噌、ワインなどを揺さぶることで、味や香りが柔らかくなるという官能試験の結果が得られており、物性試験でもナノ



有限会社ヤマナカ 代表取締役 山中 雅寛氏

レベルで状態を確認したところ、変化が認められた。

また、農業や工業でも揺さぶった水を使用することで、これまでにない効果が得られている。

今後は、この技術が生まれた広島県内の企業と連携することで、企業の持つ既存商品の価値と一緒に革新していき、地域の発展にも寄与していきたいと考えている。

【講 師】金光味噌株式会社 代表取締役 金光 康一氏

明治5年から府中味噌の製造販売を行っている。昨今は国内での販売は一部のスーパーと通販のみとし、自社の商品価値を認めてもらいやす



金光味噌株式会社 代表取締役 金光 康一氏

い欧米や東南アジア等の海外で積極的に販路を開拓している。

海外市場の獲得に際しては、海外展示会への出展のほか、要求される厳しい衛生基準に対応するため、とても厳しいFSSC22000も取得した。作業工程をロボットで自動化することで、更なる衛生管理と作業効率の向上を実現していくこととしている。



企業交流会の風景

中央会NEWS



販路拡大を目指した展示会共同出展

～より成果を上げるための一貫した取り組み～

広島県中央会では、ものづくり補助金フォローアップ事業の一環として、「販路拡大プロジェクト」を2018年度より始動しています。

本プロジェクトでは、ものづくり補助金活用事業者の補助事業実施後における販路拡大について、展示会出展前後のセミナーにより、展示会による販路拡大はもとより、「販路開拓における自立したPDCAサイクル」の習得を目指し取り組んでいます。

【今年度の取り組み内容】

○出展前の対策セミナー(展示会出展について準備段階のポイントを紹介)

展示会出展の成否は「準備が8割を握る」と言われ、本年度は、業種(工業系・食品系)に応じたセミナーを開催し、出展に際しての心構え、コンセプトの設定やキャッチコピーの作成など、すぐに展示会で活用できる伝達力の高いブース作りについて学んだ。

○出展による実践支援(展示会に出展し企業毎に成果を上げる)

- ・第22回関西 機械要素技術展(工業系)
10月2日(水)～4日(金)の3日間、インテックス大阪にて開催
- ・ファベックス関西2019(食品系)
10月16日(水)～18日(金)の3日間、インテックス大阪にて開催



第22回関西 機械要素技術展(工業系)



ファベックス関西2019(食品系)

○出展後のフォローセミナー(展示会出展後の振り返り)

展示会出展後、感心のあった顧客のフォロー方法のほか、実際に出展したブース写真等を教材に振り返りを行い、その反省点や改善点の分析と今後の対策を検討するなど、各事業者が次の出展に向けての準備、当日の営業などを自立的に行えるよう取り組んだ。

○参加者からの声

- ・セミナーと展示会出展により、自社の営業戦略を見直すことができた
 - ・社員の営業スキルの向上に役立てることができた
 - ・技術や商品の改善等のマーケティングと次に向けた課題が明確になった
- など、次回出展への具体的な改善の手がかりが得られたようです。

本プロジェクトは、来年度(2020年度)も引き続き実施予定であり、ものづくり補助金活用事業者の更なる市場創出に向けて、業種に応じた専門展への出展など、販路拡大へ向けた機会の充実を目指します。

青中NEWS

「県知事を囲んでの集い」4年ぶりの福山開催 ～湯崎広島県知事、「働き方改革の推進と県の支援策」について語る～

広島県中央会(会長 伊藤學人)及び広島県青年中央会(会長 田口裕司)は、11月6日、社団法人福山労働会館「みやび」にてこの会を開催。

当事業は昭和52年から続く青年中央会の伝統行事であり、知事より直接講演をいただくことで、若手後継者や青年経営者にとって、今後の企業経営や中小企業組合活動の参考となっている。福山市での開催は4年ぶりであり、昨年を上回る組合青年部関係者等約60名が出席した。



田口会長挨拶



湯崎広島県知事

伊藤中央会会長及び田口青年中央会会長より主催者挨拶が行われた後、湯崎知事より「働き方改革の推進と広島県が実施する人手不足対策、移住支援等について」をテーマに講演が行われた。

湯崎知事は「広島県では、『仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県』を目指す姿として掲げ、仕事と暮らしの両方を充実させる『欲張りなライフスタイル』の実現が経済、人、暮らし、地域の全てに好循環を与え、そのためには、働き方改革の推進がキーであると考えている。

働き方改革が進むことによって、社員の満足度、生産性、企業価値が上がり、それが人材確保、収益の向上に繋がっていく。県内の働き方改革実施企業は増加傾向であるが、未認知、未実施の企業はまだ多い。県としては優良事例や認定企業見える化や情報発信のほか、企業経営者を対象とした働き方改革の勉強会、イクボスの普及拡大、外部機関の専門家によるアドバイス等を通して、企業が働き方改革を推進していくための行動の後押しをしていきたい。

また、少子高齢化に伴う生産年齢人口減少の中、特に女性の活躍促進が重要であると考えており、女性管理者登用に



湯崎知事による講演風景

関するセミナーや交流会、退職後の再就職支援など、オール広島で女性の活躍促進を応援する土壌を作っている。

その他、人の集まりや定着、人材確保を図るため、東京での移住・定住窓口の設置や県外学生への広島県内企業の情報発信、U/IJターンの促進を目的としたマッチング機会の充実などを行い、県内人口の社会減に対策を講じている。広島県は都市と自然が近い点が魅力であると考えており、『働いてよかった』と心から思える広島県を一緒に実現させて行きましょう』と語られた。

また、その後の質疑応答では、参加者からの質問にも丁寧にわかりやすくお答えいただいた。

講演会終了後の懇親会では、湯崎知事にもご臨席いただき、各テーブルを回っていただいた。参加者にとっては組合青年部の活動内容、自社、業界の現状や抱える課題等を湯崎知事に直接伝え、近い距離で交流を図ることができた。



懇親会風景

組合士会NEWS

組合士として様々な見聞を ～広島県中古自動車販売商工組合の事例に学ぶ～



高瀬事務局長からの説明

広島県中小企業組合士会では、例年、会員組合士の資質向上を目的に視察研修会を開催しており、今年度は、中古自動車のオークション運営事業などを行っている広島県中古自動車販売商工組合を視察した。

当日は高瀬事務局長より、委員会機能により円滑な組合運営を目指す組織的な取り組みについて話を伺った。当組合では、県内をエリアごとの9つの支部に分けるとともに、副理事長を委員長とする5つの委員会を設置し、各委員会が専門的役割を分担し対応している。流通委員会では、オー

クシヨンの出品台数の目標設定や全国的な業界キャンペーンなどの実施において、効果的な計画立案や進捗管理を実現している。

高瀬事務局長は、「役員は自社の経営に加え、委員となり組合運営に参画することで負担が増えている。しかし、組合としても役員が組合運営の中心となり携わる意義は大きいと感じるし、広く業界の課題把握や解決を目指した活動をしており、やがては各社の経営にも活かされるなど、委員会の果たす役割は大きい。」と語られた。



オークション会場を視察

組合NEWS

組合創立50周年記念式典を開催 協同組合福山鉄工センター

協同組合福山鉄工センター（理事長尾熊孝典）は、去る11月16日（土）、鵬風亭において創立50周年記念式典



尾熊理事長

を開催した。当日は商工中金福山支店諸橋支店長、広島県東部機械金属工業協同組合唐川会長、福山テクノ協同組合松本理事長などの来賓を迎え、盛大に開催された。

尾熊理事長は「福山市内の機械金属業者16名が都市化への対応、公害対策、企業体質改善を目的に千田の地に工業団

地を建設するための協同組合を設立してから50年、様々な難局もあったが全組合員で協議し、知恵を出し合いながら解決することで、今日を迎えることができた。

我々中小企業は事業承継や人手不足、AI等への対応など、取り組むべき課題は幾多にあるが、創業時の熱い志を思い出し、組合活動を通じてオンリーワン・ナンバーワン企業が多い備後地域のものづくりを支えていきたい。」との決意を述べられた。

続いて広島県中小企業団体中央会会長表彰、商工中金感謝状の授与が行われた。

火災共済



火災



落雷

災害はいつ起こるか分からない…
備えは万全ですか？



水災



台風

広島県共済の **総合火災共済** は
万一の災害から、大切な事業所・
お住まいを守ります!!

労災費用 共済

新登場

従業員と事業所の
「安心・安全」のために
誕生した共済制度です。

〈事業所の様々なリスクを複合的にサポート〉

従業員の業務中のケガをしっかり補償
**法定外給付費用
補償**

事業所の費用損失を補てん
**事業者費用
補償**

労災訴訟による事業所の損害賠償を補償
**使用者賠償責任
補償**

労働問題にしっかり対応
**労働紛争
弁護士費用補償**



つなげる力で、安心と成長を

広島県共済

(広島県認可)

 広島県中小企業共済協同組合
 〒730-0048 広島市中区竹屋町4-17
<https://www.kyosai.or.jp>

 広島県共済組合員相談室
 ☎0120-708030


広島県中小企業団体中央会団体扱 「オーナーズプラン」のご案内

BESTパートナー
大樹生命

Owner's Plan



事業保全資金
事業承継・相続
就業不能
役員の退職慰労金・弔慰金
従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 <https://www.taiju-life.co.jp/>
広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル3F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町7-25 ケイエスビル7F TEL:084-928-3388

2019年4月1日より、三井生命は大樹生命に社名を変更しました。

 ※一部対象とならない商品・契約がございますので、
 詳細は下記までお問い合わせください。

 B-2019-5064 (2019.4)
 使用期限 2020.3.31

10月

景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —



増加・上昇・好転



変らず



減少・下落・悪化

製造業

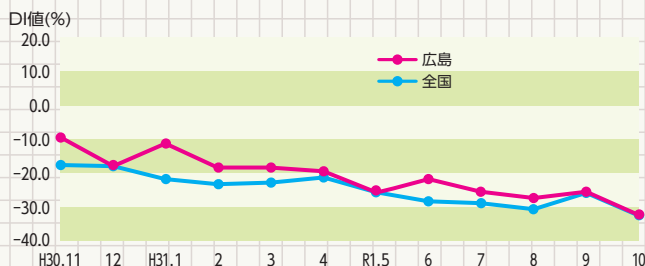
業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
食料品		☀	☁	☁	☁
繊維・同製品		☁	☁	☁	☔
木材・木製品		☁	☔	☔	☔
印刷		☁	☁	☁	☁
化学・ゴム		☔	☔	☔	☔
窯業・土石製品		☀	☀	☀	☀
鉄鋼・金属製品		☀	☔	☔	☔
一般機器		☔	☔	☔	☔
電気機器		☀	☔	☔	☔
輸送用機器 (自動車・造船)		☁	☔	☁	☁
その他 (家具・装備品)		☁	☁	☔	☔

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

非製造業

業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
卸売業		☔	☔	☁	☔
小売業		☁	☔	☔	☔
商店街		☔	☁	☔	☁
サービス業 (自動車整備・広告・警備・情報サービス)		☔	☔	☁	☁
建設業 (工事業)		☀	☔	☀	☔
運輸業		☁	☔	☔	☔
その他 (不動産業)		☔	☁	☁	☁

景況DI値の推移 (前年同月比)



情報連絡員からのコメント紹介

製造業

食料品

- 10月の出荷量は前月比20.8%増加、前年同月比9.9%増加となり、売上高は前月比22.1%増加、前年同月比10.5%増加となった。
- 消費税率引き上げの影響はなかった。
- 地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊しており、収益を圧迫している。

木材・木製品

- 丸太の伐採シーズンに入ったが、出材が増えてこないため、丸太価格は桧を主体に値上がりしている。
- 輸出梱包、パレット等の物流関係の荷動きの低迷が長期化している。
- 仕入値が上昇しているが製品価格への転嫁が進まず、採算が悪化している。

＜全国＞

- ・令和元年9月の全国の住宅着工戸数は77,915戸で前年同月比4.9%減少
- ・季節調整済年率換算値では89.7万戸(前月比0.7%増加)
- ・木造住宅着工は44,430戸で前年同月比8.2%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で借家が13ヵ月連続で減少し、総戸数も需要期でありながら3ヵ月連続で減少している

＜広島＞

- ・広島県内の9月の着工戸数は1,291戸で前年比7.7%減少、このうち持家は484戸で同3.6%増加、貸家は481戸で同17.1%減少、分譲は324戸で同1.5%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で3ヵ月連続の減少となった
- ・8月後半から9月前半の荒天で基礎工事の遅れや大工等職人不足から現場の遅れは慢性化し、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も限定的で、戸建て住宅先細りの声もあるが、プレカット工場は依

然高稼働を維持し、非住宅物件も増加しており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

- 10月は消費税率引き上げの影響からか、若干売上は落ち込んでいる。年末に向けて少し上向き気配が感じられる。

印刷 (出版・印刷・同関連)

- 今月は大阪で全日本印刷工業組合連合会のフォーラムが開催され、また広島でも印刷産業夢メッセが開催された。
- 印刷業界全体では、先行き不透明感が漂っている。

化学・ゴム (工業用ゴム製品)

- 先月から大きな変化はない。生産量が長期的に右肩下がり傾向で、原価低減だけではなく、昨今はステイクホルダーからのコンプライアンスや環境への対応も強く求められている。

化学・ゴム (プラスチック製品製造業)

- 自動車関連の売上は生産調整等により減少傾向が続いている。全体的に下降気味である。
- 米中貿易摩擦の影響で、世界的に景気の低迷が懸念される。

窯業・土石製品 (窯業・土石製品)

●出荷状況

元年10月3,438㎡(前年比10.44%増加)
元年 9月3,219㎡
30年10月3,113㎡

鉄鋼・金属製品 (鉄鋼業)

- 建築向けの鋼板は高速道や発電所の補強用としてコンスタントに受注がある。土木用の杭が水害などの影響で需要が増えており多忙である。造船向けの製品は厳しい。大手と組んでいないと厳しい状況である。

一般機器 (一般機械器具)

- 今月の売上は、前月比58.6%減少となったが、これはスポット受注

による増減と出荷時期の変更等による売上計上のタイミングによるものである。前年同月比は25.5%減少でやや減少傾向で推移している。

業界の受注総額において、9月の1,000億円割れは2010年以降9年ぶりである。今年の受注状況から、来期は生産操業度の低下が懸念される。●今月は、消費税率引き上げ後の反動減により前月比、前年同月比ともに売上が減少した。組合員の動向について、特に大きな動きはない。

組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

電気機器(電気機械器具)

●今月の国内売上は前年並みであるが、多少受注が増加しているため前月比1.5%増加、前年同月比3.7%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮している。中小企業の合理化投資に予算措置されることを願う。

輸送用機器(輸送用機械器具(自動車))

●組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

- ・10月の国内自動車販売台数は全需が315千台、前年同月比24.9%減少と4ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年同月比26.4%減少と4ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は前年同月比で22.3%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同14.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダ車の9月の海外販売合計台数は110千台、前年同月比1.3%減少と13ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比6.5%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比5.3%増加と3ヶ月連続の前年超え

輸送用機器(輸送用機械器具(造船))

●県内2,500総トン以上の令和元年9年の船舶建造許可実績は3隻、117,150総トンであった。(前月5隻298,750総トン、前年同月4隻373,500総トン)なお全て輸出船でこのうち貨物船が2隻、油槽船が1隻であった。

●中小造船業については、前月と大きな変化はない。

非製造業

卸売業(総合)

●消費税率引き上げの影響は未だ顕在化していない状況である。

高齢化や新規採用難により人手不足感は継続している。競争激化や経費負担の増加もあり、足もとの景況感はやや厳しいが、今後の見通しとしては、横ばい傾向である。

卸売業(食料)

●10月からの消費税率引き上げ後も取扱商品は食品中心であるため、8%と税率に変更はないが、当組合、得意先ともに売れゆきが鈍い。

卸売業(電設資材)

●8月の着工状況は、前年比14.0%減少となった。内訳としては、持家が前年比9.2%増加、分譲が同26.3%増加、貸家が同33.1%減少と、持家及び分譲が増加した。

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は感じられなかったが、引き上げ後は若干市場が落ち着いているように感じる。

卸売業(家具)

●消費税率引き上げの影響により、今月の売上は前年比20%~30%減少となっている。

卸売業(畳・敷物)

●びんご畳表は、消費税率引き上げ後も順調で、販売、取扱は横ばいで推移している。国産畳表(熊本)の状況は、蘭業大会を開催し、蘭業の振興に向けて決意を新たに。生産も本格化し、フル稼働の状態である。相場は強気で推移している。

中国産表は、寧波ではフル稼働の状況、工場の数も減少しており強気の相場を期待している様子である。輸入業者との交渉に力が入っている。国東半島の「青い」の生産は限界があるものの、相場は高値で推移している。

小売業(各種商品小売業)

●消費税率引き上げ後売上が非常に落ち込んでいる。回復の兆しが見えない状況である。

●消費税率引き上げ後、消費者の購買意欲が下がり、鮮魚、青果小売店は苦戦している。

鮮魚、青果とも売上減少から収益状況が悪化し、景況感は下降が長引く見通しである。

小売業(家庭用電気機械器具小売)

●今月の販売実績は前年同月比0.4%増加となった。

消費税率引き上げ前の9月末にかけて展示会などを開催したが、思うような売上増加には繋がらなかった。

小売業(その他の小売業(燃料))

●精製元売からの仕入価格の変動が比較的小さいためか、小売価格の変動も少ないように思われる。ただし、比較的安値での推移の上、販売量は年々減少しており、販売事業者の財務状況は気がかりである。

引き続き人手不足であり、今後灯油シーズンが到来し、冬用タイヤへの交換作業の増加等繁忙期になるため、こちらも気がかりである。

商店街(各種商品小売業)

●消費税率引き上げの著しい影響は見えない。

組合で取り扱っているキャッシュレス決済カードについて、キャッシュレス消費者還元事業へ早くから申請していたにも関わらず10月に入ってから承認となり、10月20日からポイント還元が開始となった。そのため、高額商品取扱店舗等でポイント還元開始前に2、3店で買い控えが見られた。

サービス業(自動車整備業)

●車検台数は、前月比2.2%減少、前年比4.2%増加

車検場収入は、前月比0.3%減少、前年比4.2%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比4.4%減少、前年比7.3%増加

サービス業(広告業)

●消費税率引き上げに伴い、売上が減少。景況感もやや悪い状態である。高齢化、後継者不足により年内で廃業する組合員がいる。

サービス業(警備業)

●人手不足が続いている。

建設業(工事業)

●カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、今月は前月比2.3%減少、前年同月比33.2%増加、前年累計比8.8%増加となった。今月も引き続きカーテン、壁装が好調で全体を押し上げた。敷物は低調が続いている。11月から年末に向けて工事量が増加する見込みである。

●材料の売上が増加した。

●今月の工事受付件数は前月比81.5%増加、前年比26.7%増加となった。先月同様、太陽光発電の今年度適用単価の締め切りが迫ることに伴う駆け込み申込であると思われる。容量変更・リフォーム工事等が大幅に増加している。

今年度に入っても作業員不足は解消できず、益々深刻化している状況である。

運輸業(道路貨物運送業)

●10月の売上高、収益状況は、ともに前月比増加、前年同月比変化なしとなった。組合員の取扱い貨物に季節商品は少ないが、機械金属、土木関係は好調に推移している。

働き方改革関連法が施行され、時間外労働の上限規制については猶予期間が4年半あるが、対応は厳しいとの意見を耳にすることが多い。出来る方法を模索しながら前向きに取り組んでいくしかない。

●10月は荷動きが悪化しており、前月比、前年同月比とも収益は減少した。

9月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により荷動きが増加し、10月はその反動で減少した。

働き方改革によりドライバーの就労時間が短縮されており、運搬量の減少と運行距離の短縮により収益が悪化している。

●売上高、収益状況は前月比、前年同月比ともに大きな変化は見られない。

しかし、消費税率引き上げに伴い荷動きに若干、影響が見られる。

運輸業(水運業)

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他(不動産業)

●今月の売上は、前月比減少となった。資金繰り等は特に変化はない。

前月から市町の固定資産税標準宅地評価及び国土交通省の地価公示評価作業が始まり、当月から国税の相続税標準宅地評価も始まるため年度末にかけて多忙になると思われる。

地価は依然として上昇基調で推移している。ホテル、マンション建設用地の需要が強い。資金力のある後発の県外資本業者が物件確保のため高値で用地取得を行うため地元の中小不動産業者の用地取得が難しくなっている。また、土木業者の人手不足もあり、H30年7月豪雨の災害復旧工事が進んでいない。

ものづくり

企業紹介

株式会社ショーダ

従業員のモチベーション 向上を軸に会社経営

代表取締役

正田 公平 氏



経営理念の策定

当社は、昭和53年の会社設立以来、多種多様な機械部品の試作や加工・修理を多く手掛けてきました。量産品だけではなく単品・試作品にも積極的に取り組み、自動車産業、建設機械、造船、公共事業、高速車両など様々な分野の顧客40社以上から精密機械加工の受注をしています。

しかしながら当社は、これまで、内外に明確に示せる経営理念というものを作っていませんでした。

そのため、従業員や顧客等へ自社

についての紹介をする様々な場面での説明が統一されず、その都度、場当たり的な対応となっていました。

しかし、私の社長就任時に、経営理念を「従業員満足(ES)なくして、顧客満足(CS)なし」と新たに定め、従業員のモチベーションの向上から顧客満足に繋げる会社経営を実践することとして、内外に周知を開始しました。

それは、組織作りがチームの強みに繋がるという私の社会人野球の経験が、経営にも通じるものと考えたからです。サービス業ではCSを高

めるために、サービスの体現者である従業員のESが大切とされますが、当社は製造業ではあるものの、規格が予め定まった量産品よりも、試作や加工修理品の単品受注が多く、顧客ニーズの正確な把握が要であり、サービス業と同様に従業員一人一人が自ら考えて動く存在でありたいと考えたのです。

設備投資による省力化で 従業員の余力を捻出

こうした経営理念を実現するうえで、従業員の時間的余裕を作るため、最初に、職人の技術を補える最新の加工設備(5軸加工機、CNC円筒研磨機 等)の導入から着手しました。

これまでは職人が加工手順などをその都度考え、それにあった治具を作製して加工を行っていましたが、最新の5軸加工機ではワンチャック(複数の加工が一工程で行える加工方法)での加工が可能になるため、職人の手間を省くことで、溶接して再加工を行う修理品や、高度な試作品に注力する余力を創り出すことができました。



最新設備(5軸制御立型マシニング)

- 当会が地域事務局を担っているものづくり補助金に採択された会員組合員企業の
 ■ 経営トップの経営方針や未来への想いなどを紹介しております。
 ■ 当コーナーが企業間連携や異業種交流へと繋がることを期待します。



機械加工後のかえり取り

また、顧客からの要求精度を満たす加工品を完成させるのに、それまでは古い設備で従業員は何度も何度も作業の手を入れざるを得ませんでした。最新設備のお陰でその手間が大きく減少し、ストレスが解消されると共に、ヒューマンエラーも軽減されました。

時間が省ける分、顧客のオーダーについて考える時間的余裕と気持ちのゆとりが生まれ、提案等に取り組む機会が増えて、顧客からの良い反応を直に受取ることができ、その点でも従業員のやりがいに繋がっていったと思います。

また、若い従業員に汎用機についての指導の時間もでき、会社全体として技術の向上・継承に繋げることができ始めています。

従業員満足(ES)の具体的な取り組み

これまで、顧客と直接コンタクトを取るの、ほぼ社長の私一人でやっていたのですが、それを、現場の主任以上の技術担当者が直接顧客に電話し、やり取りを行うようにすることで、現場の技術的な内容に沿ったコ



加工途中での寸法検査

ミュニケーションが、間を立てることなく直接取れるようになりました。その結果、当社の従業員から試作品・製品に対する具体的な再提案を行う機会が増え、相手方の反応を現場の人間が直に感じられることから、現場の志気の高まりを実感しています。

また、特に若い従業員に対しては、実際に自分が加工した製品がどのような装置に使用されているのかを組立工場まで見学に行かせることで、完成品を実際に見て、自分の役割や存在の確認に繋がっています。

また、従業員が各部署の課題・改善案などを話し合う機会を毎週月曜日に設け、そこで話し合われた改善提案を尊重することで、従業員の参画意識や達成感が醸成される体制にこだわり、役員等はその積極性を支えるという役割分担を大切にしています。



プログラム作成後の動作確認

自ら考え行動する従業員に

当社は、試作開発で頼りにされる会社であることを、会社の強みとして今後も伸ばしていきたいと考えています。

わずか17名の従業員でまかなう当社では、一部のスーパープレーヤーに頼るのではなく、主任・係長を中心とした各々のチームメンバーが、顧客と向き合い、チームが一丸となって問題解決や提案ができるよう全ての従業員の力を引き出さなければなりません。

そのためには「自ら考え、行動できる」よう従業員のモチベーションを高める取り組みが、最も大切なことと考えており、今後も自社の成長のためにも、あらゆる機会に私自身が学びながら、社内での浸透に注力していきます。

(取材:連携支援部 畠山 朋之)



株式会社ショーダ

〒729-4203 広島県三次市吉舎町
安田1076-1

T E L : 0824-43-3583

F A X : 0824-43-4393

MAIL : info@sho-da.jp



中央会誌

11月 NOVEMBER 2019

- 4日 ●組合検定試験受験講座（県共済会議室）
- 5日 ●令和元年度卸商業団地機能向上支援事業第3回委員会（（協）ベイタウン尾道）
- 6日 ●県知事を囲んでの集い（社団法人福山労働会館「みやび」）＜会長ほか＞
- 7～8日 ●第71回中小企業団体全国大会 / 歓迎レセプション / 広島県中央会ツアー（鹿児島アリーナ・城山ホテル鹿児島他）＜会長ほか＞
- 15日 ●組合青年部全国講習会（秋田キャッスルホテル）
- 18日 ●第11回自由民主党・地方政調会IN広島（リーガロイヤルホテル広島）＜会長＞
- 19日 ●フレンドリー（協）外国人技能実習制度適正化事業（組合事務所）
- 20日 ●令和元年度広島市優良技能勤労者表彰（広島市役所本庁舎）＜会長＞
- 20日 ●（協）庄原ショッピングセンター 第3回活路開拓事業委員会（組合事務所）
- 20日 ●（協）サングリーン 企業連携アドバイザー派遣事業（組合会議室）
- 21日 ●組合士会視察研修会（広島県中古自動車販売（商工））
- 25日 ●瀬戸内フードコミュニティ 活路開拓事業委員会/視察・勉強会（食品工業技術センター/おりづるタワー）
- 25～26日 ●第3回販路開拓セミナー（食品編及び関連資材編・広島/福山）（RCC文化センター/福山市ものづくり交流館）
- 26日 ●DTB交流促進（協）外国人技能実習制度適正化事業（シンワ（株））
- 27日 ●広島キッズシティ2019 第3回実行委員会（広島YMCA）
- 28日 ●事務局代表者協議会 現地訪問研究会第2回（（株）シギヤ精機製作所）
- 30日 ●公明党広島県本部 政策要望懇談会（ホテル広島ガーデンパレス）＜会長＞

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

編集後記

先日、我が家に猫（オス・1歳半）がやってきました！猫好きの妻に誘われて「保護猫カフェ」巡りをするうちに気づけば里親になることに…。ボランティアさんや動物愛護センターのもとで一時的に保護されている猫は一般的に「保護猫」と呼ばれています。「保護猫カフェ」は一見普通の猫カフェですが、そこにいる猫たちは、新しい家族を探している「保護された猫たち」です。

気に入った猫を家族に迎えたい場合、まずは里親申込みをし、その後、面談や自宅でのお試し期間を経て、その猫との相性が良ければ、正式に家族として迎えることができます。うちの猫は気まぐれマイペースで人間にも心を開きにくいタイプなのですが、試行錯誤のお試し期間を経て無事に我が家に迎えることになりました！

自分はどちらかというと犬派だったのですが、今では猫の癒やし効果にすっかり魅了されています。“アニマルセラピー”という言葉をご存じでしょうか？動物と触れ合うことで、心が落ち着いたりストレスが軽減したりする癒しの効果のことだそうです。私の家族は全員まさにこの“アニマルセラピー”を実感中なのです。（筒井）

表紙のことば



400年以上前から愛される、広島の名産

日本一の生産量を誇る、広島の牡蠣。全国で最初に養殖を始めたのも広島で、なんと室町時代から行っていたと伝えられています。中国山地から栄養たっぷりの水が流れ込む広島湾は、餌となるプランクトンが豊富。また、海水温や塩分濃度も成育に適しており、大粒でしっかりとした味の、美味しい牡蠣に育ちます。その濃厚さから様々な調理法で楽しめる広島の牡蠣ですが、旬である冬に食べるなら「牡蠣の土手鍋」は忘れてはならない郷土鍋。甘辛い味噌と牡蠣の組み合わせは絶品！鍋の周りにぬった味噌の土手を崩しつつ、好みの味に仕上げるのも醍醐味ですよ。



メルマガ会員募集中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、公の施策やセミナー案内状などの「最新情報」を定期的にお届け致します。組合運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらのアドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——



ポリテクセンター広島

能力開発セミナー

『能力開発セミナー』とは

ものづくり分野を中心とした技能・技術および専門的知識の向上を目的とした在職者の方を対象とした職業訓練です。

機械設計・加工分野

カスタムマクロによる NCプログラミング技術

《コース番号》 P2901
《日程》 2/5,6,7
《受講料》 15,000 円

3次元CADを活用したアセンブリ 技術(ソリッドモデリング&アセンブリ編)

《コース番号》 P0603
《日程》 2/19,20,21
《受講料》 13,000 円



鉄鋼材料の熱処理技術

《コース番号》 M1102
《日程》 2/15,16
《受講料》 12,500 円



金属加工・溶接分野

TIG溶接技能クリニック

《コース番号》 M0204
《日程》 1/18,19
《受講料》 16,000 円

ろう付技能クリニック

《コース番号》 M1001
《日程》 2/8,9
《受講料》 15,000 円

TIG溶接技能クリニック (各種材料施工編)

《コース番号》 M0401
《日程》 2/28,29,3/1
《受講料》 20,000 円

設計・施工管理に活かす溶接 技術(非破壊検査活用編)

《コース番号》 M1401
《日程》 2/21,22,23
《受講料》 19,000 円

電気・電子・制御分野

電気設備における 積算技術

《コース番号》 E0201
《日程》 1/21,22
《受講料》 8,500 円

オープンソース携帯OS 活用技術

《コース番号》 E5101
《日程》 2/5,6
《受講料》 13,000 円

建築・居住分野

寄棟屋根の墨付・加工 実践技術

《コース番号》 H1101
《日程》 1/12,19,26
《受講料》 15,500 円

隅木・振垂木の施工 実践技術

《コース番号》 H1201
《日程》 2/2,9,16
《受講料》 15,500 円

スマートデバイスによる PLC制御技術

《コース番号》 E5201
《日程》 2/18,19
《受講料》 12,000 円



実践建築設計 2次元CAD技術

《コース番号》 H0102
《日程》 2/8,9
《受講料》 10,000 円

振れ隅工法の加工 実践技術

《コース番号》 H1301
《日程》 3/8,15,22
《受講料》 15,500 円

※消費税の改定に伴い、受講料が年度当初より改定されているコースがありますのでご注意ください。

※令和2年度の能力開発セミナーのコースの詳細を記載した『セミナーガイド』(無料)を2月初旬頃にご用意いたします。貴社の教育計画を策定する際のお役に立てていただけるものと思いますので、ご希望の方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部 広島職業能力開発促進センター(ポリテクセンター広島)
〒730-0825 広島市中区光南5-2-65 TEL:082-245-4338 FAX:082-245-3926
ホームページの情報もご覧ください。

URL <http://www3.jeed.or.jp/hiroshima/poly/>

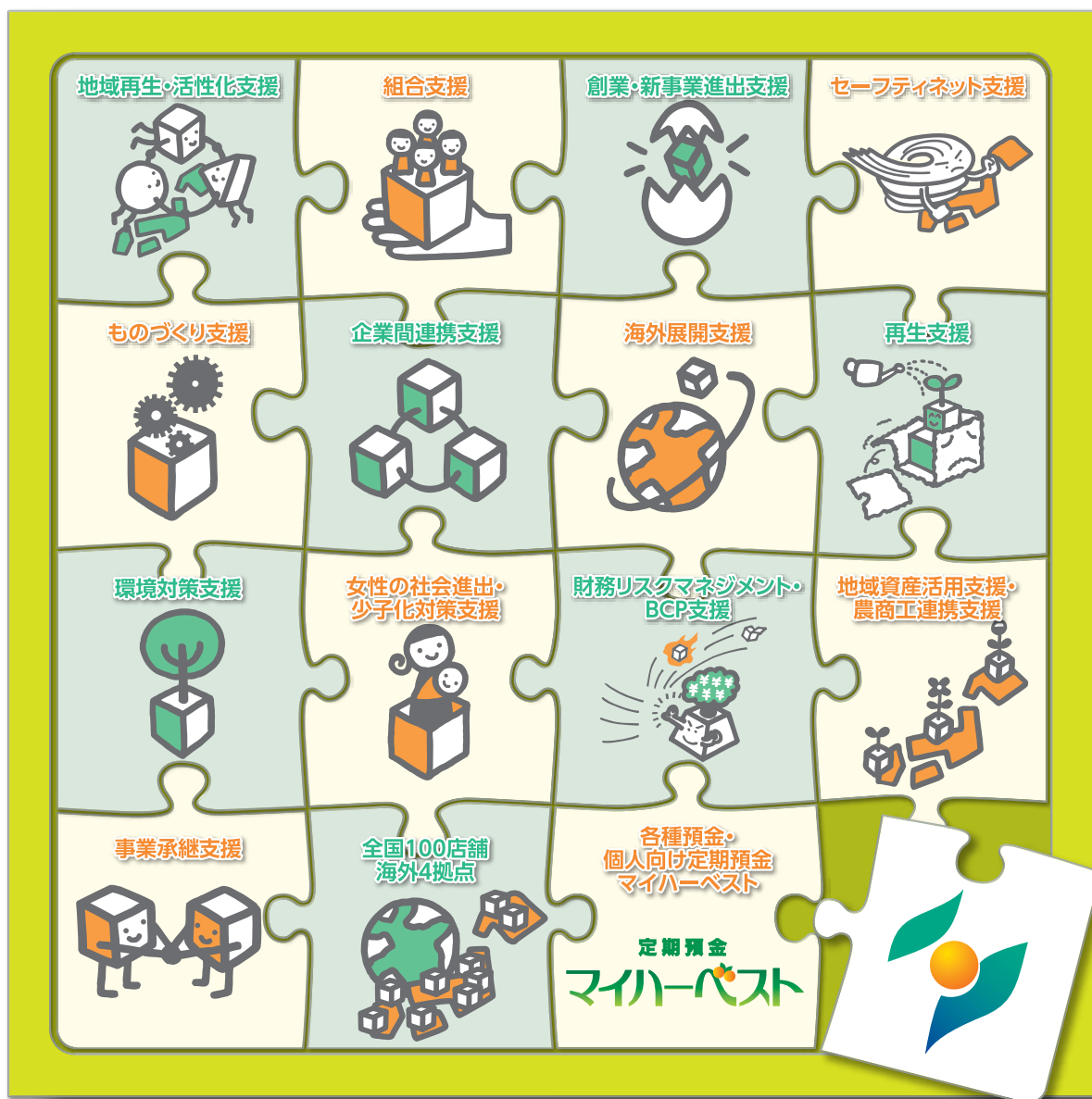
※公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズが「ハロートレーニング～急がば学べ～」に決定しました。



ポリテク広島

検索

商工中金は、幅広いサービスで 中小企業と地域の未来を支えます。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。



人を思う。未来を思う。

商工中金

<http://www.shokochukin.co.jp/>

広島支店

広島西部支店

福山支店

- 本通り電停バス停前
TEL.082-248-1151
- アルパークから南へ徒歩5分
TEL.082-277-5421
- 福山駅前大通り南へ900m
TEL.084-922-6830

令和元年十二月十日発行
通巻七五五号(毎月十日発行)
中小企業ひろしま 十二月号

編集発行人
広島県中小企業団体中央会

発行所
広島県中小企業団体中央会
広島市中区基町五十四番四号
電話(082)228-0926(代)

FAX:(082)228-0925
HP:<http://www.chuokai-hiroshima.or.jp>
E-mail:chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

一部 定価三百円
年間購読料 三千六百円
(会費は会費に含む)